

総務民生委員会視察

1月25日

○参加委員

西脇康（委員長）、松永民夫（副委員長）、野村永一、吉田太郎、岩永義仁、佐野伸也

「総合福祉施設について」

（静岡県磐田市）

磐田市総合健康福祉会館（イプラザ）は、市内に点在していた子育て支援に関する施設・高齢者福祉に関する施設・市役所担当部署などを1箇所に集約し、総合健康福祉施設として機能していた。施設内には「子育て支援センター」「子ども若者支援センター」「社会福祉協議会」「ボランティアセンター」「包括支援センター」「発達支援センター」「市役所福祉部門」など、福祉に関する施設が集約されており、行政と関係機関が同じ施設内にあることにより、相互に顔が見える関係が構築され、包括的な支援が可能であることや、住民の困りごとに応じて複数の窓口を案内する場合にも負担を軽減することができると、多くのメリットを感じた。

また、「喫茶コーナー」「交流ラウンジ」「生きがいづくり室」など、住民が自由に使用できる交流スペースも多く、障がい者も健常者も、子どもから高齢者まで誰もが触れあい、理解しあい、交流を深める福祉の拠点となっていた。

磐田市は平成17年に市町村合併しており、施設建設費は約16億円であったが、その財源のほとんどが合併した市町村が利用できる合併特例債を活用していた。

本町においては、旧町民プールを改修して総合福祉施設とする計画がある。点在する福祉関係の施設を集約することによる住民の利便性の向上や、適正な公共施設維持管理に寄与するなど、有効性は十分あると考える。一方、財源については有効な補助金や起債がないと一般財源となり、事業規模によっては町財政を圧迫する恐れもある。

町民が求めるニーズや、福祉施策の将来像などを十分加味し、一方で、町財政の中長期的な見通し、点在する公共施設の維持管理の観点も鑑みながら、旧町民プールという特殊な建物をどう活用していくのか、早々に結論付けるのではなく、様々な意見を聴取しながら十分に議論して進める必要があると感じた。



産業建設委員会視察

1月26日

○参加委員

清水由美子（委員長）、北倉義博（副委員長）、水谷久美子、早崎百合子、大橋みち子

「ふじえだmobi実証実験について」

（静岡県藤枝市）

藤枝市では、AIオンデマンド交通「ふじえだmobi」実証運行を令和5年11月1日から12月31日まで実施し、移動のスタイルを変える新しいサービスの有効性を検証していた。

「ふじえだmobi」とは、8人乗りワンボックスワゴン車で運行されるオンデマンド型乗合バスで、事前予約が不要であり、利用したい時に専用のアプリが電話にて配車し、指定した場所から行きたい場所へ行けるもので、乗降ポイントは約200mごとに273か所設置されていた。

アプリによりお迎え時間や到着時間、車両位置が確認できたり、AIシステムが最適ルートを検索し、相乗りで効率よく目的地へ行ける仕組みであった。

また、この事業は民間主導で行っており、藤枝市は様々なサポートを行うが財政負担は無い点も特徴的であった。

藤枝市は、市内10地区の生活を支える公共施設や都市機能が分散していることや、民間バス路線が縮小されるなどの課題を解決するために、自主運行バス5路線・自主運行乗合タクシー4区域・シェアサイクル・高齢者移動サービス

「ふじえだmobi」実証実験を行った結果、住民からは良好な反応であった。

地域交通の充実にあたっては、そこに住み、訪れ、働く人たちの暮らしをしっかりと見て、そこに寄り添い、ニーズを探ることが重要であり、その住民ニーズを把握するために、職員が精力的に取り組まれていた。

当町でもオンデマンドバスが運行されている。まずは現行制度を住民にもっと周知し、加えて、高齢者世帯や一人暮らしが増加していく中、住民の声に耳を傾けニーズをしっかりと把握し、今後、どのようにに対応していくのか考えていく必要があると感じた。



議会ニュース

産業建設委員会 養老トンネルを視察

産業建設委員会及び所属外希望議員は1月17日に東海環状自動車道の養老トンネルの工事現場を視察し、NEXCO中日本の担当者より説明を受けました。



垂井町議会と交流会

1月18日、垂井町議会が養老テレワーク施設YOROfficeを視察し、当町担当者より説明を受けられ、その後当町議会と意見交換をしました。



長野県飯綱町議会が当町議会を視察

1月23日に長野県飯綱町は、当町が令和4年度に議員定数を削減した経緯等について調査研究のため、当町議会を視察されました。



海津市議会がそよかぜ教室を視察

2月6日、海津市議会が養老福祉作業所に併設されているそよかぜ高田教室を視察され、当町担当課より説明を受けられました。



産業建設委員会 ミズノテクニクス㈱を視察

産業建設委員会及び所属外希望議員は2月20日に当町高田地内にあるミズノテクニクス株式会社を訪問し、会社の概要等の説明を受け、パット製作などの工場内を視察しました。



あれからどうなったんやあ〜

シリーズ 110

このシリーズは、過去の定例会（今回は令和4年3月議会）での一般質問に関して、その後の状況をお知らせするものです。

問 男性トイレのサニタリーBOXは

こうなりました

男性用個室トイレのサニタリーボックスは、病気治療や加齢により日常的に尿漏れパッド等を使用する方が、安心して外出していただけるよう、全国の自治体や民間事業所において、設置が進められています。

町公共施設においても、全ての方が安心して利用できる環境を整備するため、各施設の利用状況やトイレ個室スペースなども考慮しつつ、順次設置を進めており、令和5年度までに27施設に設置し、今年度中には、7施設に設置を予定しています。

また、施設への表示等により、設備設置を周知し、適切な使用を呼び掛けてまいります。

